

私学の魂

山脇学園中学校・高等学校

2010年の“山脇ルネサンス”宣言以来 理想の教育の実現に向けて着々と進化し、 都心の広い学び舎で女子の「志」を育てる、 山脇学園の人気の秘訣

東京メトロ「赤坂見附」から徒歩5分、同じく東京メトロ・都営地下鉄線の「赤坂」・「青山一丁目」・「永田町」
「溜池山王」の各駅からも徒歩7～10分という都心の交通至便な地にある山脇学園中学・高等学校。

今春2014年の首都圏中学入試では、全3回の入試とも志願者を増やし、入試レベルも高まった女子校として注目されています。

2010年に「最高の教育施設と最高水準の教育」の実現をめざして“山脇ルネサンス”を謳い、ダイナミックな改革に踏み出した山脇学園。

いま大きな注目を集める「サイエンスアイランド」と「イングリッシュアイランド」を2011年にオープン。続く2012年には「自学館」「音楽ホール」「放課後活動棟」「新カフェテリア」をオープンさせて、着々とその改革を実現しつつある同校の手応えと今後の方向性を、広報室長の西川史子先生にお聞かせいただきました。



広報室長 西川史子先生

DATA
1

山脇学園中学校・高等学校

沿革 1903年 山脇 玄により牛込白銀町に女子實脩学校創設。
山脇房子初代校長に就任。
1906年 校名を山脇高等女学校と改称。
1935年 現在地に新校舎を新築落成、移転。
1963年 中学校新校舎竣工。
2009年 新しい学園作りを目指して山脇ルネサンス始動。

校長 山脇 恭
所在地 港区赤坂 4-10-36
TEL : 03 (3585) 3911 ~ 3
http : //www.yamawaki.ed.jp/

交通 銀座線・丸の内線「赤坂見附」駅より徒歩5分、千代田線「赤坂」駅より徒歩7分
有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅より徒歩10分

今春 2014 年中学入試でも大人気の秘訣となった「山脇ルネサンス」とは？

かつては高い人気を集めた併設の短期大学の募集を停止し、その立地や教育リソースを「中高一貫教育」に振り向けることで、最高の教育施設と最高水準の教育の実現をめざして改革に踏み出したのが 2010 年。この時期から「山脇ルネサンス」を謳い、次々と新たな教育環境を整え、それを生かした教育展開を打ち出してきたのが山脇学園中学・高等学校です。

今春 2014 年の中学入試でも、全 3 回の入試とも志願者を増やし、入試の難易度もアップさせて、女子校のなかでも大きな注目を集める存在となりました。「山脇ルネサンス」とは、建学の精神に立ち戻り、未来に向けての教育の針路を新たに定める一連の活動です。「山脇ルネサンス」宣言を発して以来、教員が一丸となって取りくむなかで、各部会で意見を出し合っ

そこに身をおくだけで楽しくなり、学びたくなる「サイエンスアイランド」と「イングリッシュアイランド」

山脇学園が「サイエンスアイランド」と「イングリッシュアイランド」をオープンさせたのが 2011 年。続く 2012 年には「自学館」「音楽ホール」「放課後活動棟」「新カフェテリア」をオープンさせました。「山脇ルネサンス」の理念を込めた、これらの特徴ある施設に喜ぶ生徒の姿と、見学者からの高評価に、改革の方向性と新たな教育環境に手応えを感じました」とは西川先生。

2013 年 11 月には、21 世紀の理想の校舎をめざした第 1 期工事（高校 HR 教室などがある新 1 号



生徒たちの自発的な取り組みを演出するスペース「自学館」



理科はちょっと苦手な女子も、S1で実験すれば、自分の中に隠れた「サイエンティスト」の才能を発見できるかも！

館）が完成。そして 2015 年 3 月には新校舎建築が完了し、来春の新入生からは、6 年間を通して真新しい恵まれた環境のキャンパスで快適に過ごせることとなります。

赤坂という都心の交通至便の地にあるだけに正門の外から見ると、一見コンパクトにまとまっている印象を受けますが、南北の高低差を生かして校舎が建てられたキャンパスは、都内の私立中高一貫校の平均面積の 2 倍の広さを持ちます。それは校庭の下にも、現在は中 2・3 の HR ゾーンとして使われている 5 号館（西側）と、サイエンスアイランドとなっている 5 号館（東側）があり、正門側から見られる地上部分と同じくらいの校舎や屋外実験場・フィールドワークエリアが広がっているからです。現在工事中の新 2 号館が完成すると、そちらに中学 HR 教室が移るため、先の 5 号館（西側）が、予備教室や部活動の関係の施設として使うことができ、その面でも余裕のある学園環境が整うこととなります。

かつて短期大学に家政科や食物科に設置されていた実験室は「サイエンスアイランド」として、校庭の下に位置する 5 号館（東側）と、サイエンスアイランドブリッジで結ばれています。窓に面してフィールドワークエリアの緑が見える理科実験室や斜面形の講義室が並び廊下には、数々の理科・科学的な模型や標本などが飾られ、さながら大学の研究室棟のような趣です。もともと理科好きな女子はもちろんですが、こういう環境によって、理科への興味や知的好奇心を喚起される女子もきっと多いことでしょう。

SJ 研究活動棟（1F）や特別講義室棟（5～7F）、クラブ活動棟（3F）などになっている 4 号館は、フロア毎にデザインや廊下の展示が工夫されて、ここも研究室のような雰囲気を作られています。

とくに驚かされたのは「継続実験室」と名づけられた実験スペース。化学実験に欠かせないドラフトチャンパーをはじめ、理科実験に必要な機器が壁際にびっしりと並べられた部屋には、一定の期間が必要とされ



S1にある屋外実験場では四季折々の植物を育成・観察することができます。

る継続的な実験をするための設備やスペースが設けられています。理系の大学や大学院に進み、「リケ女」をめざす女子にとっては、将来の進路や職業、自身の「研究する姿」もイメージできるような施設になっています。現在の中3からは理系進学希望者が5割近くまで増えていることも納得です。

短期大学の施設からほぼ全面リフォームで生まれ変わった3号館は、フロア入り口のドアまで、各階のコンセプトにふさわしくリフォームされたユニークな空間。この3階が話題の「イングリッシュアイランド」。一歩足を踏み入ると、まるで「ここはディズニーランド？」と思わせるような、テーマパーク的な（大人でも）心躍るような英語学習のための空間です。

広報室長の西川史子先生によると、この「イングリッシュアイランド」の空間は、現場の教員と生徒の「思い切り楽しく英語でコミュニケーションできる空間にしたい」想いに「校舎内に外国を作ってしまう！」というアイデアが加わってできたものだといいます。ここでならば、きっと会話はずみ、英語を好きになってくれるに違いないと…。

現在この「イングリッシュアイランド」がある3階は、中1HR教室のある2階と、同校の「志」を実現する4つの力のひとつ「自己啓発力」を培うための「自学館」（4階）の間に位置し、まだ新鮮な気持ちで授業に臨む中学1年生には、とても人気の高い空間になっています。

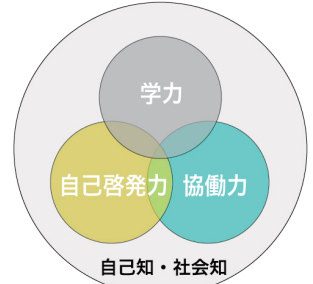


「おとぎの国？」いえいえ、イングリッシュアイランドには英語を好きになるシカケが満載です♪

山脇学園の大切にする「志」を育てる教育の二本柱 「総合学習」と「校外学習」

山脇学園の創立者の山脇玄は、貴族院で日本初の「婦人参政権付与」の演説をした法学者であり政治家・教育家。初代校長の山脇房子は、婦人の地位向上に向けた社会運動の先駆者の一人として活躍した女性。その

両先達の「志」を受け継ぎ、先の“山脇ルネサンス”の教育目標は「社会で生き生きと活躍する女性のリーダーを育てる」と定められました。そして、この目標を実現するための資質として、「自己知・社会知」「学力」「自己啓発力」「協働力」の4つの力を育むことが必要と



志を実現する4つの力

考え、一連の教育改革が進められてきました。

一方では、「琴」「礼法」「華道」「ダンス」の授業に象徴される、長い歴史に磨かれた“山脇イズム”も変わることなく堅持して今後も豊かな情操と教養を兼ね備えた女性の育成をめざしていくと明示しています。

この“山脇ルネサンス”の柱であり、同学園の建学の理念に通じる「志」を育てる教育の両輪となるのが、独自の「総合学習」と「校外学習」です。

そのひとつ「総合学習」では、自分を知る「自己知」と、（自分を取り巻く）社会を知る「社会知」を身につけさせ、さらに現代社会のさまざまな課題の解決に挑戦し、社会に貢献しようとする「志」を育てていきます。これによって、日々の学習や生活に全力で取り組む姿勢を育て、自発的に学習に取り組むモチベーションも高めることが目的です。たとえば中1では、1週間の家庭学習と関心を持ったニュースを記録する「今週の記録」をはじめ、学年情報誌「INFO」の作成、クラス予選を経て行われる「スピーチコンテスト」などで自己知を深めていきます。中2では、生徒が自分の興味を持つ業界で働く方に取材した情報をまとめる「業界インタビュー」、社会的なテーマについての意見をまとめた「マイオピニオン」などを通して、自己知・社会知を身につけていきます。さらに中3～高1では、大学の先生からの入門講義「ユニバーシティ・ウィーク」、志望大学めぐり「キャンパスツアー」などの取り組みを通して、すべての生徒が大学での学びの意欲を高め、信念を持って女性としてのライフプランを描き「マイキャリアプランニング」を仕上げ

いきます。

山脇学園の「志」を育てる教育の両輪のもうひとつが、「チャレンジ精神の養成」「フィールドワーク」「協働力の養成」を三つの柱とする「校外教育」です。志を立て、それを実現するには、実体験を通して自分を取り巻く社会の理解、人との関わりのなかで仕事をする力、そして何事にも動することなくチャレンジする精神が必要だからです。たとえば中2で行われる「白馬村での自然体験学校」では、初日は一人一艇ずつのカヌー講習に始まり、野外料理、漆黒の湖に漕ぎ出すホテル観察クルーズ、キャンプ場での宿泊体験など、女子校には珍しい、野外でのちょっと“ワイルドな”チャレンジ体験をすることができます。2日目は、八方尾根から雪渓を超えて丸山ケルンをめざし、往路で



白馬での自然体験学校ではカヌーにもチャレンジ予想図。

は白馬マイスターの案内で高山植物を観察。夕食後はキャンプファイヤーで心をひとつにして歌や踊りで盛り上がります。これも体験した生徒にとっては、きっと忘れがたい思い出になることでしょう。

こうした各学年の「校外教育」では、様々なプログラムで克服課題に取り組み、小さな成功体験を積み重ねて、ポジティブなセルフトーク（自分自身への励まし）が習慣化されることで、一人ひとりの心の中にチャレンジ精神が育っていくのです。こうした「総合学習」や「校外教育」のプログラムとその効果を何うと、そこには「IB（国際バカロレア）プログラム」がめざす「10の学習者像」の理念にもつながる、「探求する人」

「コミュニケーションのできる人」「信念のある人」「心を開く人」「挑戦する人」など、さまざまな人間力を育てる機会であることが感じ取れます。

さらに中学入試に新しい風を吹き込む 再来年 2016 年に向けての変革

こうして新たに「最高の教育施設と最高水準の教育」の実現に向けて、着実な歩みを進めてきた山脇学園ですが、その改革はこれで終わりではありません。すでに一般入試とは別枠の帰国生入試も行っている同校ですが、英語の学習歴のある帰国生と国内生に向けて、一人ひとりの英語力に対して最適な英語の学習環境を整えるために、今年度の入学者からは中1の最初から、英検4級既得レベル、3級既得レベル、準2級既得レベルからスタートする3つのグレードの授業クラスを設置しています。

さらに、もっと英語の学力を伸ばしたい帰国生や国内生のために、正規の授業よりさらに高度なレベル設定の「学年オープン制のハイレベル英語講座」も、放課後の特別授業として用意されました。そして、校舎がすべて完成して余裕ができたことを期に、2016年入試からは募集定員を40名程度増やして帰国生と海外での活躍を志す英語学習歴のある国内生向けの新しい入試を導入する計画もあるといいます。いま結実しつつある“山脇ルネサンス”の改革の一環として、さらに高い「志」の実現に向けて、ますます進化しようとする山脇学園の今後がとても楽しみです。



海外語学研修のラインナップも豊富！（左：イギリス語学研修、右：オーストラリア語学研修）

DATA 2

2014年大学合格状況・抜粋（現役）

国公立大学

京都大学	1
東京外語大学	1
東京芸術大学	1
電気通信大学	2
埼玉大学	6
茨城大学	1
横浜市立大学	4
千葉県立保健医療大学	2
前橋工科大学	1
計	19

私立大学

慶応義塾大学	9	日本大学	54
早稲田大学	14	東洋大学	19
上智大学	7	駒澤大学	11
東京理科大学	4	専修大学	25
青山学院大学	18	成蹊大学	14
学習院大学	22	成城大学	26
中央大学	20	國學院大學	17
法政大学	50	明治学院大学	40
明治大学	36	東京女子大学	25
立教大学	31	日本女子大学	37